



日浦喜傳さん(明治42年生まれ)



中村シヅさん(明治30年生まれ)



山口シヅエさん(大正10年生まれ)



多久島京子さん(昭和20年生まれ)



小旗端流さん(昭和8年生まれ)



市丸国助さん(昭和32年生まれ)



嬉野克浩くん(昭和56年生まれ)



永尾桂子さん(昭和44年生まれ)

謹賀新年

私たちが年男、年女
今年もがんばります

'93 1月

平成5年を飛躍の年に

伊万里市長

竹内通教

市民の皆さん、明けましておめでとございます。

今年(今年)は酉年(うしとし)で、「鶏鳴(けいめい)曉(あけ)を告(つ)ぐ」といいますから飛躍の年が期待されます。

まず、伊万里市開発の重点であります伊万里湾にさらに大きな曙光(しやうこう)が見えてきました。

これまで産業ゾーンの中心は合板と造船でしたが、七つ島団地では飼料コンビナートとしての埠頭(ふとう)工事が始まり、伊万里団地では水産コンビナートに向けて用地造成や岸壁が整備されております。

この水産コンビナートについては今後松浦市と唐津市を含めた機能分担が考えられねばなりません。さらにこれから注目されるのは博多港の輻輳(ふくそう)に伴う

コンテナ基地の分散で、九州自動車道ができれば博多港の副港としての浦之崎団地が脚光を浴びてくると思えます。

昨年暮に国際海洋技術シンポジウムが市民センターにおいて三か国語同時通訳で行われましたが、学術ゾーンを設けて海洋技術・生物・環境等の研究を進め伊万里湾を開鎖海域のモデルにしたいと思えます。いま一つ、レクリエーションゾンは海水浴場を中心に海と陸に拡大していきます。

国際陶芸祭へ向け

一大プロジェクトも

市街地は平成八年の国際陶芸祭をめざして伊万里川を含めて思い切った街づくりをし、世界陶芸村づくりも一大プロジェクトになります。サテライト会場のイ



セントとして「世界伊万里会議」は大きな関心をお呼び物と思われま。

農業では農道空港以上のものを地元で還元し国営の進行とブランド品づくりで農村日本一を実現します。

そのほか図書館等のハード面、伊万里学等のソフト面で文化づくりを進め、モデル長寿村・学校・体育施設の整備・高速交通体系、駅の南北道路等市政全般については総合計画に沿って遅れないよう努め、平成五年を飛躍の年にいたします。

り易(やす)かったとのこと、それ以上にこのような国際会議を伊万里で催したことに、集った皆さんからたいへんな称賛をうけました。

そのほか展示部門では前田拓郎氏の写真展、美術協会の絵画・陶芸・書道展など、発表部門では詩吟、バレエ、合唱等があり、市民センター落成のおかげで一度に文化の華が咲き、さらにグレイドアップされたことを各部門で申されました。やはり文化の向上にはこのようなハード面が必要で、今年(今年)は図書館の建設と平成八年(今年)にむけて世界陶芸村づくりにかかります。

文化のソフト面は全行政の分野にあるともいえ、最近(最近)は道路や河川にも文化の感じられる修景が行われています。

そこで市でも「文化のまちづくり推進室」を市長部局におき、一切の行政に文化というプラスアルファをして町のどこにおいても文化の感じられるよう推進いたします。

伊万里の名にふさわしい人づくり、街づくり、産業づくりが平成五年市政の課題であります。(竹内)

平成4年第4回定例市議会

一般会計 17億円追加 総額219億円に

伊万里市議会第4回定例会は12月4日から21日まで18日間開かれ、提出された条例議案4件、一般議案7件、予算議案13件の議案24件と諮問1件は、審議の結果すべて可決されました。また、継続審議となっていた平成3年度の13会計の決算議案も審議、可決されました。

一般会計は17億60万円を追加して、予算の総額が219億2006万円になりました。前年同期に比べ2830万円、0.1%の減となりましたが、災害復旧費を除く前年対比では7.2%の伸びとな

っています。

今回の補正では、平成8年の国際陶芸祭を目標に準備を進める「世界陶芸村」の具体化へ向け、基本構想の策定委託料として2000万円を計上しました。

主な事業内容

- ▷ふるさとづくり基金積立金 1億1650万円
- ▷減債基金積立金 5億4750万円
- ▷世界陶芸村基本構想策定委託料 2000万円
- ▷福祉基金積立金 1億4152万円
- ▷森林災害復旧事業費補助金 4709万円
- ▷日本の子供陶芸展開催事業 70万円
- ▷国見台野球場改修工事設計委託料 550万円

第一回暴力追放市民大会

暴力追放を市民宣言

第一回暴力追放市民大会が11月30日市民センターで開催され、会場の定員を超える700人が参加、関心の高さをみせました。

市暴力追放推進市民会議（会長 竹内通教伊万里市長、60団体）と市防犯協会（会長 同市長、25団体）、伊万里警察署（高極太郎署長）が、市民の暴力追放に対する意識を高めるために開催したもので、県内の市町村では初めて。大会は、小田

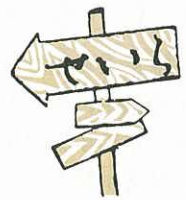
村県警本部長の激励のメッセージ伝達で始まり、松田弁護士の暴力団に対する具体的な対抗手段に関する記念講演、金融協会など代表5団体に由る決意表明などが行われ、暴力追放に関する大会宣言が採択されました。

式典終了後、参加者は応援に



駆けつけた県警音楽隊を先頭に伊万里駅前までパレードし、市民に暴力追放を呼びかけました。

「せいら」を愛読されている市民の皆さん、明けましておめでとうございませう。今年の最大のイベントは十月四日に行われた市民センターの開館式であったと思いますが、名村造船所からコンサート・グランドピアノ・スタンウェイイン二台の寄贈がありましたので、アトラクションにピアノ二重奏が披露され、十一月八日には佐賀銀行百周年記念として堤剛のチェロとピアノ演奏会もあり、音響もすばらしいとのことでした。また十月二十七日には能の仮設舞台で観世流梅若六郎師の演能があり、これまた音響もよく仮設舞台は西日本随一と評価されました。さらに十一月十八日には国際海洋技術シンポジウムin伊万里が行われ、オランダ・ロシア・韓国・中国からも参加され、英語・ロシア語・日本語が同時通訳されましたが、非常に聞き取



'93 ことしは



とりどし ひしょう 今年は酉年・市民飛翔の年

地域活動も ますます活発に

市街地での「どっちゃん祭り」や大川町の「やってみゅーだin大川」、陶青会の創作展など、それぞれの地域で特に若者を中心とした活発な地域活動が繰り広げられています。今年もまた伊万里ブランドの振興や地域づくりなど各方面で新しい活性化の動きがあり、市民の皆さんの注目を集めています。

市の大型事業も めじろ押し

市民センターの完成で国際文化都市の幕明けをした平成4年。平成5年の伊万里市も文化や産業、社会基盤などで大型事業が相次ぎます。

まず文化面では、昨年旗揚げ

した伊万里学が伊万里塾として各地域に広がり、図書館は平成7年春の開館を目指して一部着工します。また、平成8年の国際陶芸祭に向けて陶磁美術館を核に整備を進める世界陶芸村も基本構想を策定して事業概要を具体化します。

次に産業面では、七つ島工業団地や伊万里団地でのコンビナート構想の具体化として埠頭みとう工事等を進め、国営開発事業も3月には全体22工区のうち6工区の事業が完了し、ブランド農産物の生産拡大を図ります。商店街も新商業ビジョンで魅力ある商店街づくりが進められます。

社会基盤の整備では、伊万里湾大橋が平成7年の暫定二車線開通を目指して事業が進み、海洋性レクリエーション基地も緑地やマリーナの整備を進めます。

伊万里市の酉年を 振り返ってみると

伊万里市は、昭和29年4月に誕生し、その後、昭和32年、44年、56年、今年と4回の酉年を迎えました。

市制誕生以降の酉年の主な出来事を振り返りました。

昭和32年

- 坂本満次郎氏が名誉市民
- 筑肥線にディーゼルカー開通

昭和44年

- 松浦公民館完成
- 東山代小、南波多小完成
- 第1回商工春まつり開催

昭和56年

- 国見台に「憩いの森」完成
- 西部バイパス伊万里大橋に着手
- 平山・脇田地区の80戸に給水施設完成

私たちの出番です

伊万里ブランドの飛躍に挑む

伊万里焼、伊万里ナシ、伊万里牛、伊万里きゅうり。伊万里の豊かな自然と風土の中から生まれたこれらの産物は伊万里ブランドと呼ばれ、全国でも有数の一級産品といわれています。これらのブランドは、もちろん一朝一夕に生まれたものではなく、関係者の皆さんの長年の努力から産み出されたものです。伊万里ブランドのさらなる飛躍を目指して努力する皆さんの中から、2人にスポットを当ててみました。



良質の伊万里牛肥育は わたしの青春

山代町城

原 由 美さん(25)

伊万里農林高校の生活科を卒業して、宮崎県の肥育牛農家で3年間の営農実習をしたあと、松浦市の今福にある兄の牛舎で84頭の牛の肥育をしています。

高校生の時は、友達のように県外で就職をしてみたいという気持ちもありましたが、肥育牛の実習をしてからは、私も肥育ができるんだ、という自信ができて本格的に肥育牛の仕事に就きました。

朝8時半に自宅を軽トラックで出て、牛舎の掃除やえさをやるのが私の日課ですが、やはり一番嬉しいのは、兄と二人で一生懸命に育てた牛が高く売れた時で、そんな時は牛にお礼を言いたくなります。

伊万里牛は日本一といわれていますので、嬉しい反面、品質を落としてはいけないという責任を感じながら仕事をしています。今年の私の目標は、県の畜産共励会に出品できるような牛を育ててチャンピオンになることですが、父や兄は、牛だけを相手にせずそろそろ結婚を…と言っています。



伊万里焼の伝統継承と 新たな挑戦

伊万里陶青会会長

畑 石 眞 嗣さん(37)



全国的なバブルの崩壊で、伊万里の窯業界も一昨年ぐらいから低迷し、恐らく今年は肥前窯業界全般に不景気が広がるものと思われます。

このような状況の中で、伊万里の窯業界がぜひ進めなければならないことは、ほかの地域との商品の差別化だと思います。つまり、数よりも質に力点を置いて、全国でも有数の伝統、文化を持つ「伊万里でしかできない焼き物」を作り、地域一体となって市場に売り込むことが大切だと思います。

陶青会は、市内の若手窯元の組織ですが、新しい伊万里焼の伝統を創るという視点に立って、3年前から「あかりとインテリア」や「うつわとお菓子」などの提案型の創作展を開いています。今年も、9月ごろに「器で茶・茶・茶」というテーマでお茶文化と焼き物文化を考えてみたいと思っています。また、平成8年の国際陶芸祭では、伊万里焼を通して伊万里文化の提案ができればと思っています。

地域おこしに挑む

昨年スタートした伊万里学。

今年も、さらに各町単位での郷土学も計画されています。

地域おこしグループの活動も、盛んです。

今年も、市内各地域で若いエネルギーの躍動がみられることでしょう。

ここでは、地域の歴史文化の掘り起こし、イベントによる活性化と、それぞれ違った方法で地域おこしに取り組む2人に話を聞きました。

黒川学スタートの年 お母さんを語り部に

黒川町浦分

小島 すみ子さん(42)



「黒川学」には、ぜひお母さんたちに参加してほしいですね

京都からこちらへ嫁いで18年になります。でも、伊万里の歴史や文化についてはまだ知らないことばかりです。それで、昨年「伊万里学ゼミナール」を受講させていただきました。

中でも、「住んでいることが誇りに思える伊万里のまちづくり」をテーマとした講義には、強く感銘を受けました。「住んでいることが誇り」というネーミングも好きです。

ゼミナールを受講して、伊万里には、ほかに誇れる立派な歴史や文化がたくさんあることを学びました。今年も黒川でも、公民館が中心となって、身近な郷土学として「黒川学」がスタートします。私もお手伝いさせていただきつもりです。これには、ぜひお母さんたちに参加していただきたいと思っています。そこで学んだ黒川の昔話などを折に触れて子どもたちに話してください。案外、「もっと聞かせて」という返事が戻ってくるかも知れませんよ。

若い力を結集して 今年もやってみゅ～だ



大川町農協青年部長

吉原 政隆さん(38)

3日、3月、3年といいますが、「やってみゅ～だ」も去年が3回目で、少しマンネリ化してきたかな、という感じでした。

これではいかんと、大川牛のブロック丸焼きなど新たな催しにも挑戦し、みんなで気を引き締めました。

恒例の綱引き大会には、大分

や福岡、長崎からも参加があり、この大会が、次第に県外の有力チームにも浸透しているのを感じています。夢は、「伊万里カップ」へのグレードアップです。

こうしたイベントを続けるためには、資金面をしっかりとしなければなりません。私たちは、水田を小作したり、草刈りをし



夢は、綱引き大会を「伊万里カップ」にグレードアップすることです

たりして資金を工面していますが、この共同作業も、連帯感を強めるために役立っています。

今年も、若い力を結集して元氣あふれる大川町にしようと、みんな張り切っています。

幸せ家庭づくりに挑む

昨年、伊万里市では296件の結婚届を受理しました(12月15日現在)。

夫妻となつて初めて迎えられた正月は

また格別だろうと思います。

ここでは、「今年は自分たちの年」と張り切っている2組をご紹介します。

今年、結婚40年目を迎え、そろって年男年女の井手さんご夫妻と、
2月に結婚する河野さん・井上さんのカップルです。



わたしたち 2月に結婚します

東山代町東大久保 河野 正紀さん(22)
嬉野町 井上ひとみさん(23)

正紀さん 兄と寿司店を経営していますが、2年くらい前、嬉野で修業中に彼女と知り合いました。きっかけ? 恥ずかしいんですが、指をけがして、飛び込んだ薬局に彼女がいたのです。そうですね、1目ぼれです。結婚後は、この店を手伝ってもらいます。今、実家の隣に自分たちの家を建築中ですが、中身の方も、2人で協力して明るく楽しい家庭を築いていきたいと思っています。彼女に注文? 何もありません。

ひとみさん ええ1つ私が年上です。「金のわらじで尋ねる」ということわざですか? 教えてもらいました。とても光栄です。赤ちゃん? しばらくは2人だけの生活もいいな、と思っています。新婚旅行も、お店に余裕ができてからゆっくり行こうと決めているんです。どんな時でも、笑いの絶えない家庭にしたいですね。正紀さんに注文は? あります。体に注意をして、いつまでもやさしくいてほしいです。



彼女に注文することは、何もありません

お父さんには90点あげます。
マイナス10点はナイショ



みずのととり

夫婦そろって癸酉 これからもお互い健康で

南波多町原屋敷 井手 正男さん(昭和8年生まれ)
マチ子さん()

正男さん 結婚は、昭和28年です。ちょうど40年になりますかね。妻に一番感謝しているのは、自分の親兄弟と同じように、私の方の親せきを大事にしてくれることです。ところで、私たちの結婚にはエピソードがあります。私たちの結婚届を役場に持っていった父親が、そこで懇意にしていた村の助役さんに届を預けたままではいいのですが、「お祝いに一杯」となったのが不運。助役さんは、なんとそのまま1年間戸籍係に届けるのを忘れっぱなしで、長男の出生届を出しに行くとやっとわかったのですが、それはもう大騒動でした。

マチ子さん 子どもは男1人と女2人。長男が家に残り、あとはそれぞれ嫁いでいます。長男の嫁さんが外孫にも、自分の子どもと同じように扱ってくれることが、とてもうれしいですね。家族、兄弟は仲のいいのがいちばんです。お父さんに点数をつけると90点ですかね。マイナス10点は、ナイショです。



★ わが家のPOPOPO ★

しゅんすけ
松尾 俊典ちゃん
(8か月)
保典・澄美さんの長男

おめでとうございます！
僕、シュンちゃんです。お外
とお風呂が大好きです。早く大
きくなってオトソとおせち料理
が食べたいな。(大坪町永山)

ほほえみ ひろは

この広場はみなさんのページです。
あなたの声をお寄せ下さい。

※申し込みを順次受け付けています。

おめでとうございます

黒川町の梶原キヨさんに百寿記念メダル

黒川町黒川内の梶原キヨさんが、12月7日に満100歳の誕生日を迎えられるため、12月5日に竹内市長がキヨさんを訪問し百寿記念メダルを贈りました。

キヨさんは、明治25年12月7日に南波多町重橋で生まれ、大正2年10月に梶原嘉市さんと結婚。6男、2女をもうけましたが、昭和11年に嘉市さんと死別し、そのあとは農業をしながら女手ひとつで子どもを育て、現

在は3男の菊男さんご夫婦と生活をされています。

キヨさんは、今年になってから寝たきり状態になったものの、若い時から体を使っているせいか内臓の病気は全く無く、食事は何でも食べ、竹内市長が「100年もの長い間ご苦労さまでした」と百寿記

念メダルを首にかけると、「おおきに」と手を合わせて喜びを表されていました。

百寿記念メダルは、昭和62年から交付しており、キヨさんは10人目で、そのうちの5人は今でも健在です。



郷土の文化財

郷土の文化財を守るために

文化財保護審議会



市教育委員会では文化財の保護や啓蒙活動の指導助言をしていただくために、文化財保護審議会を設置しています。審議会は年間3～4回開催され、委員は民俗芸能、古代史文献、近世文献、仏教美術、工芸、陶磁器、生物、地質などの専門の先生たち10人で構成されています。

具体的な活動としては、教育委員会が重要な文化財を指定するための諮問機関として、意見や指導を行ったり、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議します。最近では、旧犬塚家住宅(伊万里市陶器商家資料館)の指定について審議し現存する商家建築遺構として建築学上及び、当時の陶器商人の暮らしを知るためにも貴重であると答申し、それを受けて教育委員会は市重要文化財に指定しました。伊万里市の文化財はこうした審議会によっても守られているのです。

先人の偉業を記念して

12年に一度の申相撲中里場所

二里町の内の馬場、金武、中田、作井手、古子、吉野、川内の7区からなる中里地区で、12月6日、12年に一度の申年にしか行われなさるいたひこ猿田彦おおがみ大神祭典があり、祭典のフィナーレに申相撲が行われました。



この申相撲は、今から200年前の寛政4年に二里村の南平

(現在の中田周辺)を中里7区で開墾した折りに、その記念として猿田彦大神を祭り、その余興として申年に相撲が行われたのが始まりといわれています。

この日は、神事と中里浮立の奉納が南平の現地で行われ、そのあと古子区の水田に作られた

特設相撲場で、中里地区の申年生まれ40人の紹介や紅白もち投げ、児童28人による紅白相撲試合、赤ちゃんの土俵入り、二里町各地区対抗の団体戦や3人抜き、5人抜きの申相撲が行われ、団体戦では川東Aチームが見事優勝しました。次回の申相撲は、平成16年に内の馬場区で行われることになっています。



幸島 恵伊子さん(19)
松浦町下平(射手座、O型)

去年の春に伊万里高校を卒業して浦崎郵便局でいつもニコニコ窓口事務をしています。社会人になってから水泳と焼き物作りを始めました。今は寒くなったので家で冬眠中ですが、暖かくなったらまた始めたいと思っています。今年はいろんなことにアタックして充実した1年にしたいと思っています。

二里町誌執筆委員会

安永三年 伊万里有田 八谷搦干拓事業てん末記を出版

二里町誌の編さんを進めている二里町誌執筆委員会(山口房一委員長)は、町誌の編さん過程で集まった資料の中から「安永三年伊万里有田八谷搦干拓事業てん末記」を活字体に直して冊子にまとめ出版しました。

このてん末記の原本は、昭和20年代に有田郷の大庄屋・藤山家の蔵から発見された一級資料で、安永3年(1774年)から天明5年(1785年)まで行われた八谷搦干拓事業の概要や八谷搦の地名の由来、有田川の流路変

更などが記載されています。今回出版した冊子は、前九州陶磁文化館副館長の前山博さんが原文解読を行ったもので、A5判、200頁で300部の限定出版です。1冊2000円で、ご希望の方は二里公民館(☎233024)までお申し込みください。



四季の詩

今は無き肥前松島初風ける

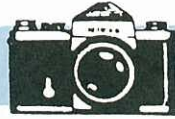
立花台丁目 林 雨 滴

一本の糸をぐいぐい引張りて

碧空に高し孫の初風

脇田町 村田 妙子





大坪地区青少年育成町民会議主催の趙国良さんの演奏会。胡弓の調べが聴衆を魅了しました。
(11/29 文化ホール)



市婦人連絡協議会の「ふれあい文化祭」。童心に帰っての熱演に場内爆笑の場面もみられました。
(11/22 文化ホール)



波多津町出身で京都市在住の「友染」作家・澤井豊泉さん(写真)の里帰り作品展
(11/28~30 文化ギャラリー)

「ふれあい文化祭」の書画
手芸、編み物などの作品展
(11/22 文化ギャラリー)



中学校音楽会 (11/21)

小学校音楽会 (11/22)

市民会館





二里町大里の神之原八幡宮で行われた「取り追う祭り」。たいまつ（火の粉）が舞う中、地区の若者が、ざるに入った強飯（こわい）をめぐって激しい攻防を繰り広げました（12/4）

みどり保育園（山代町東分）の園児と地元のお年寄りとのもちつき交流会（12/11）



伊万里信用金庫職員会による伊万里向陽園でのもちつき（12/5）



10月26日から12月2日まで、伊万里情報センターで開かれた「21世紀伊万里村づくり塾」のパソコン講習会

東山代少年陸上部

駅伝で交通安全火災予防呼びかける

東山代少年陸上部の部員70人が12月12日、町内を巡る12.1kmの区間でたすきリレーしながら交通安全と火災予防を呼びかけ



る、一味違った駅伝大会を行いました。

同陸上部の保護者で組織する育成会（松本和好会長）が、学校週5日制の土曜休日を活用して、子どもたちに地域とのつながりを深めてもらおうと実施したものです。

子どもたちは、それぞれに「安全へつなぐ老いの手幼い手」「寝る前にもう1度確認火の用心」などの標語が書かれたゼッ



ケンを付け、3、4年生が2km1区間を、5、6年生が2区間4kmをゆっくりしたペースで走りました。しかし、このペースも、いっしょに走った日ごろ運動不足の保護者にはきつかったようで、すぐに息を上げる人の姿も見られました。

東西松浦駅伝伊万里地区予選会

1月31日に行われる第46回東西松浦駅伝競走大会への出場権をかけた伊万里地区予選会が12月13日、国見台陸上競技場で開かれました。予選会では、各チーム10人ずつが5000mを走り、チームごとに上位8人のタイムを合計。その上位5チームが晴れて本大会へ出場できます。

今回は地区内から8チームが参加。伊万里市関係では二里町、黒川町、大川町の各体協が、激しいサバイバルゲームを勝ち抜いて本大会への出場権を獲得しました。なお、昨年の本大会で10位以内の成績を残した九州電子、伊万里地区・波多津町・東山代町体協は、予選会を経ないで今年の本大会へ出場できます。

山代町親子駅伝大会

たすきもひとつ、気持ちもひとつ

12月6日、午前中は市内一周駅伝競走大会の選手が町内を通過して、その応援の熱気がさめやらない山代町では、午後1時半、第17回親子駅伝大会の号砲が鳴り響きました。

レースには、町内から8チームが出場。山代公民館を周回す

る11区間15.2kmのコースで、小中学生、高校生、それに成人の各男女が、1本のたすきお互いの気持ちをつないで、力いっぱい走りみせました。

成績は、優勝が原子ども会で、2位浦之崎子ども会、3位楠久津子ども会の順でした。

お母さんの声援が力走を後押しします



第39回市内一周駅伝競走大会

東山代 2年連続のV



浦之崎駅前を一齐にスタートする1区の選手たち。この区間は40歳以上の選手が出場したため、沿道からの声援もひとしおでした

師走の市内を1本のたすきをつないで駆け巡る第39回市内一周駅伝競走大会が12月6日、浦之崎駅前をスタートし市内全域をまわって市役所をゴールとする11区間、63.2kmのコースで行われました。

時々小雨が降るあいにくの天候でしたが、中継所や沿道には多くの人が応援に駆けつけ、力走する選手たちに温かい声援を贈っていました。

レースは、1区で首位に立った東山代が、その後も2回の再スタートを含む全区間で首位をキープ。11区間のうち6区間で

区間賞をとる安定した走りを見せ、昨年に続き2年連続、3回目の優勝を果たしました。

成績は、次のとおりです。

- 優勝 東山代 (3時間31分15秒)
- 準優勝 山代 (3時間39分27秒)
- 3位 二里 (3時間39分57秒)
- 4位 大川 (3時間41分52秒)
- 5位 波多津 (3時間42分12秒)
- 6位 黒川 (3時間45分28秒)
- 7位 南波多 (3時間47分29秒)
- 8位 大坪 (3時間49分09秒)
- 9位 松浦 (3時間52分37秒)
- 10位 牧島 (3時間55分44秒)
- 11位 伊万里 (4時間03分19秒)
- 12位 大川内 (4時間04分23秒)

1月のスポーツ

1日(金)

- 南波多町民歩こう会
5時40分 南波多公民館
- 東山代町新春走ろう歩こう会
9時 東山代公民館



17日(日)

- 波多津町内一周子ども駅伝
12時 波多津中学校
- 波多津町親子卓球大会
8時30分 波多津中学校
- 二里町子ども会卓球大会
9時 国見台体育館

躍進賞—伊万里(7分46秒短縮) 〈区間新記録〉(敬称略)

- 8区岩本瑞樹(東山代)22分25秒
- 松永鉄男(伊万里)22分37秒
- 峯哲也(二里)23分39秒
- 10区高木淑文(山代)18分17秒
- 11区谷川忠光(東山代)12分44秒



波多津町中山の大山祇神社付近を力走する選手たち

市内一周駅伝大会順位表(5区、8区は再スタート)

着順	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	累計
1	東山代	●	●	東山代	東山代	●	東山代	東山代	●	●	東山代	東山代
2	大坪	●	●	二里	山代	●	二里	伊万里	●	●	山代	山代
3	南波多	●	●	波多津	二里	●	山代	二里	●	●	大川	二里
4	二里	●	●	黒川	南波多	●	大川	南波多	●	●	波多津	大川
5	牧島	●	●	大坪	黒川	●	黒川	黒川	●	●	二里	波多津
6	山代	●	●	山代	波多津	●	波多津	牧島	●	●	南波多	黒川
7	大川	●	●	大川	大川	●	松浦	大川	●	●	黒川	南波多
8	松浦	●	●	松浦	大坪	●	大坪	波多津	●	●	伊万里	大坪
9	大川内	●	●	牧島	松浦	●	牧島	松浦	●	●	大坪	松浦
10	黒川	●	●	南波多	牧島	●	南波多	山代	●	●	牧島	牧島
11	波多津	●	●	大川内	伊万里	●	大川内	大坪	●	●	松浦	伊万里
12	伊万里	●	●	伊万里	大川内	●	伊万里	大川内	●	●	大川内	大川内

母子・寡婦家庭への修学資金等の貸付

母子・寡婦家庭の生徒を対象に、就学支度資金や修学資金などの貸し付けを次のように行います。

- **対象** 平成5年度高校や大学等に入学する生徒、または在学中の人
- **貸付金の種別と申請時期**
就学支度資金 1月22日～2月19日（今年入学予定者に限ります）

修学資金 2月1日～3月2日
修業資金 2月1日～3月2日
校区別に面接日を指定します

- **申込先** 市福祉事務所婦人児童係
- **提出書類** 申請書、戸籍謄本、住民票謄本、所得税・税額証明書（所定の用紙有）など
※詳しいことは、市福祉事務所婦人児童係（☎23111内線258）または母子相談室（内線265）へ。

初級中国語教室

「初級中国語教室」を開きます。ふるってご応募ください。

- **募集対象** 高校生以上の市民と市内事業所に勤めている人
- **定員**（先着順）
昼コース20人・夜コース20人
- **期間** 2月2日～7月28日
昼コース：毎週火曜日14:30～
夜コース：毎週水曜日18:30～
教室時間は1時間30分程度
- **会場** 市民センター2階 一般教養室①
- **講師** 大連市研修生
高冬梅さん
- **受講料** 1月1,000円で、初回に2,000円の教材費
- **申込期間** 1月4日～16日
- **申込方法** 市役所国際交流室内国際交流協会事務局へ直接おいでください。（☎23111 内線409）



アルミ缶回収にご協力を

- **缶の搬入** 1月20日（水）の午前9時までに搬入してください。
- **搬入場所** 市の各町公民館（二里は除く）、市農協各支所、南波多農協、大川町農協
- **回収時間** 1月20日の午前9時から回収を開始しますが、回収順番があとになる所は時間がずれ込みます
- **問い合わせ先** 市民相談室（☎23111 内線226）



寒さにヨワ～イ水道管

水道の冬じたくはできていますか

- ◆ **水道管の凍結を防ぐには**
水道管に保温チューブ、布、縄を巻いて、その上をビニールなどで防水してください。古くなったチューブなどは取り替えてください。
温水ポイラーや太陽熱温水器も冬の準備が必要です。
- ◆ **管が凍って水が出ないとき**
タオルか布をかぶせ、その上からぬるま湯をかけて解かしてください。
- ◆ **水道管が破裂したとき**
元栓を開めて、破裂した所に

布やテープを巻きつけた後で市水道部（☎235400、235401）か、近くの市指定の水道工事店までご連絡ください。

- 〔市指定工事店名〕 ☎
- 伊万里市管工事組合 22-5333
 - 相生設備(株) 23-9060
 - ㈱九州工伊万里営業所 23-5245
 - 伊万里設備 23-2616
 - 川井産業(株) 23-2185
 - (有) 新生商会 23-4308
 - 誠和設備工業(有) 23-5009
 - 弘川電気商会 27-0059
 - (有) たかもり 25-1170



- (有) 寿屋商店 29-2036
- (有) 朝日設備工業 22-5265
- 瑞穂設備(株) 23-6240
- 川菱設備(株) 23-0525
- 藤本電気店 28-2578
- (有) 久保設備 28-4401
- 前平管工 24-2702
- (有) かねこ住設 23-2810
- (有) 日設 23-9650
- (有) 西部施設 22-4188
- 山口住設 23-8815

物品購入(修理)の指名業者 登録申請は1月中に

平成5年度の伊万里市の物品購入(修理)の入札(見積り)に参加を希望する人は、あらかじめ指名業者の登録が必要です。1月1日現在で1年以上同種の事業を営んでいる人で、希望者は次の要領で申請してください。

●受付期間 1月4日～30日

- 受付場所 市役所財政課
 - 提出書類 入札参加資格申請書、納税証明書ほか
- ※様式は、返信用封筒を同封のうえ、郵送で財政課財政係へ申し込むか、直接ご来庁ください。詳しいことは財政課へお尋ねください。(☎232111 内線433)

おいでよ! ヤング・アグリ・フェスティバル

“こんにちからはじめよう伊万里市農業国際化の幕明け”をテーマに「ヤング・アグリ・フェスティバル」を開きます。

市内の若い農業者が中心となっていて行われる楽しい催しですので、お気軽にご参加ください。

●日時 1月23日(土)
午後1時～

- 会場 伊万里市民センター
- 行事内容 渡辺潔佐大農学部教授の講演会、「農業と国際化」をテーマとした市内若手農業者の体験発表、テレビでお馴染みのライエル・イ・ランドリーさんのスピーチ、アジア芸能披露、ちょっとだけ外国語講座、アジア料理紹介

新春

招福伊万里えびす祭り

中心商店街で、昨年まで別々に行われていた「招福伊万里えびす祭」、「えびすラリー」、「中島保杯ロードレース」が、今年から成人の日の1月15日に「招福伊万里えびす祭」として盛大に行われます。七福神パレードや福引大会など盛りだくさんのイベントが予定されていますので、ご家族連れでお出かけください。

〈えびす祭スケジュール〉

●七福神パレード

時間 10:30～12:00

コース 伊万里神社～駅通り～銀天街アーケード

●中島保杯ロードレース

時間 10:30

会場 駅通りスタート

●えびすラリー

参加 1チーム2人で、小学4年生以下は保護者同伴

受付 12:00 親和銀行前

問合先 今坂呉服(☎231202)
谷口呉服(☎232692)

賞品 活鯛ほか

●福引大会

時間 12:30～16:00

会場 銀天街アーケード

えびす賞 活鯛

※そのほか、おでんコーナーやぜんざいコーナーもあります。

今月の市民相談

場所:市民相談室10時～15時

無料・秘密厳守

●法律	7.21(木)
●社会保険	8.22.29(金)
●交通事故	12.26(火)
●行政	20(水)
●人権	12.19(火)
●身障者	25(月)
●青少年	28(木)
●消費生活	4.11.18.25(月)
●女性就業	6.13.20.27(水)

※住宅相談は、7日と21日(木)の午後1時から4時まで市役所市民ロビーで行います。

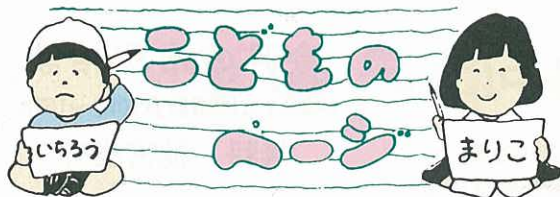
1月の市民会館行事

- 15日(金) 10時 成人式
- 16日(火) 17時半・19時45分
「ボイスチャイムサーカス一人旅」
伊万里子ども劇場 会員制
- 24日(日) 10時半・12時20分
14時10分「ゴジラ対モスラ」映画会
大人1,500円 大・高生1,200円
中学生1,000円 小学生800円 幼児700円

1月の市民センター行事

- 7日(木) 11時
初点(初釜)
- 10日(日) 14時
市少林寺拳法協会新春演武祭
- 23日(土) 13時
ヤング・アグリ・フェスティバル
- 2月7日(日) 14時半 九州交響楽団演奏会 1,000円
- 2月13日(土) 14時 伊万里ライオンズクラブ25周年記念式典





立花小の収穫祭

ペタン ペタン もちつきや劇で収穫を喜ぶ



山口哲二さんともち米を脱穀



立花小学校（坂本康幸校長、664人）で、11月28日、もち米の収穫祭が行われ、5年生とその保護者など170人は、もち米の脱穀やもちつきで収穫を喜び合いました。

立花小では、8年ほど前から5年生の社会科の勤労生産学習の一つとして、立花町渚の山口哲二さん（63歳）の水田4アを借りて田植えから稲刈りまでのもち米作りをしています。

この日の収穫祭では、山口さん宅の昔ながらの足踏脱穀機を使ったもち米の脱穀が行われ、もち米90キを収穫しました。

脱穀のあとは、親子もちつき大会が行われ、子どもたちはキネどうしをぶついたりしながらも、もちつきを楽しみ、体育館で行われた感謝祭では学級別の劇や記念品などで山口さんに感謝を表し、ぜんざいやキナコもちをおいしくいただきました。

医王保育園児の向陽園訪問

歌や踊りの熱演にお年寄りもウツリ

二里町福母の医王保育園（大宅幸弘園長、45人）の年長組の園児12人が、12月8日、大川内町平尾にある養護老人ホーム伊万里向陽園（田中寿幸園長）を

訪問し、入所しているお年寄りや向陽園の職員など90人を前に歌や踊りを元気に披露しました。

園児を代表して、前島裕ちゃんが「ただ今からぼくたちのゆ

うぎを始めます。みなさん、ゆっくりごらんください」とあいさつし、大宅園長からはお茶菓子のおみやげがお年寄りの皆さんに手渡されました。

引き続き、園児が1か月前からこ



この日のために練習をしてきた「都の春」や「風神太鼓」、「ちびっこ三四郎」などの踊りや歌など全部で12の出し物を1回づつ衣装を替えながら熱演すると、お年寄りからは大きな拍手がおくられました。この医王保育園児の向陽園訪問は30年ほど前から続けられています。

